

中部国際医療センター



外観

「中部国際医療センター」は、美濃加茂市中心部の新たに「健康のまち一丁目1番地」と名付けられたエリアに位置。地上10階建て延べ約6万平方メートル。地域の、日本の、世界の医療拠点を目指す。



ホスピタルモール

「優しい」「訪れやすい」病院を目指す、中部国際医療センター。正面玄関からホスピタルモールに入ると、上層部は3Fまで吹き抜けており、開放的で心やすく、気持ちのよい空間が広がっている。



1F 総合受付

利用者に優しい医療を目指している中部国際医療センターは、日々の治療・通院がストレスにならないよう、落ち着いた雰囲気の内装・しつらえが施され、快適に過ごせる空間を提供している。



9F デイルーム

病棟フロアのデイルーム。南側に面し、大きな開口を有するこの共有スペースからは、市内が一望できる。明るく気持ちのよい、くつろぎの場所となっている。



1F 正面玄関横女性トイレ

洗面コーナーには、吐水位置が高く、吐水空間が広く確保できるゲースネックタイプの自動水栓を採用。しっかりと手洗いすることができる。



1F 正面玄関横男性トイレ

小便器は、汚れやすい床面の清掃性に配慮して、壁掛型の自動洗浄小便器を採用。気分が悪くなった際などに必要な呼出ボタンも設置。大便器には、L型手すりを取り付けている。



1F 正面玄関横バリアフリートイレ

車いす使用者のほか、お子様連れに配慮して、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを完備している。



1F 採尿トイレ入口

中央処置室の採尿トイレは、バリアフリートイレを中心に、男女トイレを左右に配置。さらに、入口のサインには、配慮された設備をピクトサインによってわかりやすく掲示している。



1F 採尿トイレ 男性トイレ

通路の突き当たった最奥に、採尿コップを提出する採尿窓口が設置されている。



1F 採尿トイレバリアフリートイレ

お子様連れに配慮して、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを完備。採尿窓口は、車いすで採尿コップが提出しやすいよう配慮され、便器前方の壁面に設置している。



1F 産婦人科前バリアフリートイレ

コンパクトオストメイトバックや収納式多目的シートを設置。院内のバリアフリートイレは、場所ごとにさまざまなバリエーションの設備を設け、利用者の身体状況にあわせ幅広く対応できるよう、分散配置している。



2F レストラン手洗いコーナー

レストラン入口に設けられている手洗いコーナー。食事前に手指の衛生が保てるよう、非接触の自動水栓で手洗いでできる環境が整えられている。

中部国際医療センター



3F ICU
手洗いコーナー



10床あるICUのスタッフステーションに設置されている手洗いコーナー。洗面のあふれ面の高さ850mmに設置することで腰をかがめずに利用でき、腰への負担を減らして、しっかりと快適に利用ができる。



基準階 病棟
スタッフステーション

スタッフステーションの出入口の横にスタッフ用手洗器を設置。適所に手洗いコーナーを設置することにより、しっかりと手洗いができる環境を整備している。



基準階 病棟 共用トイレ

スタッフステーション前に設けられている共用トイレ。左右勝手違いで2ブース設置しており、右マヒ・左マヒなど、利用者の身体状況に応じて選択できるように配慮している。



基準階 4床室
洗面コーナー



身体状況に応じて、重症患者向けの病室(左・右上)は、スタッフが介助しやすいよう、ベッドに近い位置に洗面を配置。一般病室(右下)は、患者が使用しやすいよう入口横に設置している。



基準階 4床室
共用トイレ

4床室のトイレは、いったん病室を出て使用。大便器には、排泄時の姿勢保持のために前方ボード(スイングタイプ)を設置。さらに、車いすの回転などに支障ないよう、カウンター一体形コーナー洗面器を選定している。



9F 特別室

最上階に設けられている特別室。市内を一望できる眺望のよい室内は、モトーンで落ち着いた雰囲気ゆとりを感じさせる空間となっている。



9F 特別室
手洗いコーナー



入室して、入口すぐに手洗いコーナーを設置。患者はもちろんのこと、スタッフも処置などのあとに利用ができるよう配慮されている。



9F 特別室
トイレ・洗面コーナー

大きな引戸のトイレ扉は、車いすでも大便器にアプローチしやすいようレイアウトされている。洗面コーナーとは別に、トイレ内で手洗いまで行えるよう壁掛手洗器も整備され、衛生面の配慮がなされている。



トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

“全ては病める人のために”という理念の下、100年以上にわたり地域に寄り添い、質の高い医療を提供してきた社会医療法人厚生会 木沢記念病院は、美濃加茂市の健康づくりの新しい拠点として整備された「健康のまち一丁目1番地」に、移転新築。「中部国際医療センター」として新たなスタートを切った。医療・福祉・保健をつないで健康を支援する美濃加茂市の「メディカルシティ構想」拠点の中核として、診療科33科に加え、専門性を高めた高度専門医療部門、がん専門部門を設置。さらに、502床の入院病棟とハイブリッド手術室を含む11室の手術室を有する。新名称には、「世界に通用するハイレベルな医療を提供する」という決意が込められており、地域の、日本の、世界の医療拠点となることを目指している。

水まわりの特長

利用者に「優しい」医療、ユニバーサルデザインを取り入れた「訪れやすい」施設を目指す「中部国際医療センター」では、水まわり設備も日々の治療や通院がストレスにならないよう、利用者視点で選定。訪れる人に寄り添うホスピタリティを大切にしている。手洗いコーナーは、院内での高い衛生性を維持するために、適所に配置。トイレは、利用者の快適性を確保するため、清掃性や機能性を確保した器具を採用している。また、車いす使用者の利用を多く想定し、利用しやすい広さを確保したバリアフリートイレを随所に配置。さらに、その設備も利用特性にあわせ、お子様連れ配慮、オストメイト配慮など機能を分散させて、幅広い利用者に対応できるようバランスよくレイアウトされている。

建築概要

名称	中部国際医療センター
所在地	岐阜県美濃加茂市健康のまち1-1
施主	社会医療法人厚生会
設計	株式会社久米設計
施工	株式会社フジタ
竣工年月	2021年9月
敷地面積	114,675㎡
延床面積	59,516㎡
構造・階数	鉄骨造・地上10階、塔屋1階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CS497BCD
- パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CS494J
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF55*系
- 自動洗浄小便器:UFS900R
- カウンター一体形コーナー洗面器:MLRA50B
- 洗面器:L530
- 壁掛手洗器:L210、L270DFN、LSE870AP系
- 台付自動水栓:TEN84G、TENA50A
- コンパクトオストメイトバック:UAS81RDB2N
- 収納式多目的シート:EWC520ARS
- ベビーシート:YKA25S
- ベビーチェア:YKA15S
- フィッティングボード:YKA41R
- 前方ボード(スイングタイプ):EWC5740
- トイレ用手すり(はね上げタイプ):EWC783
- スタッフ用手洗器:LS850R